

会 議 録		
会議名	第28回日野市地域公共交通会議	
日時	平成30年 6月21日(木) 10:30から12:00まで	
会場	日野市役所本庁舎101会議室	
出席者	委員	別紙のとおり
	事務局	都市計画課 岡田課長、壁巢課長補佐、伴登主任、高橋主任、川上主事
議題	議事 (1) 新規会員について(協議事項) (2) 平成29年度決算・平成30年度予算について(協議事項) (3) OD調査・市民アンケートの結果について(報告事項) (4) 日野市地域公共交通総合連携計画について(協議事項) (5) 分科会の設置について(協議事項) (6) 平成29年度地用状況について(報告事項) (7) その他(報告事項)	
公開・非公開の別	公開	
傍聴人の数	2名	
<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ(会長)</p> <p>3. 議事</p> <p>(1) 新規会員について(協議事項) 事務局から説明(資料1)</p> <p><意見、質問等> 特になし</p> <p><議決> 会長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規会員について異議ないか。 《異議なし》 ・新規会員について承認した。 		

(2) 平成29年度決算・平成30年度予算について（協議事項）
事務局から説明（資料2、資料3）

<意見、質問等>

委員

今年度バス停整備は市の直轄になったので予算に含まれていないとのことですが、当会議で要望や報告などは今後も行われるのか。

⇒お金の出所が変わるだけで、交通会議で市民の要望を受けたもの、市に直接要望を受けたものに対して交通会議で発注するのではなく市が直接工事を発注する。事前の報告や事後の報告は今まで通り交通会議にて報告する。

（事務局回答）

<議決>

会長

- ・平成29年度決算（案）及び平成30年度予算（案）について異議ないか。
《異議なし》
- ・平成29年度決算（案）及び平成30年度予算（案）について承認した。

(3) OD調査・市民アンケートの結果について（報告事項）
事務局から説明（資料4）

<意見、質問等>

委員

資料4のP14の通勤通学時の主な交通手段について、通勤でバスを使用するお客様は、バスに乗って駅まで行き、そこから電車に乗る人がほとんどだと思うが、その場合はどのように計上しているのか。

⇒代表交通手段という取扱いにしており、アンケートでは「利用する交通手段すべてに○をつけるように」としており、複数回答あった場合は鉄道に計上している。

（事務局回答）

(4) 日野市地域公共交通総合連携計画について（協議事項）
事務局から説明（資料5）

<意見、質問等>

委員

日野市公共交通総合連携計画とありますが、これは活性化再生法に基づいた計画ではなく、あくまで日野市単独の事業ということで良いか。

⇒その通りです。今回行おうとしている計画は平成21年3月に策定した日野市地域公共交通総合連携計画の検証をした上で路線網の再編等を行うもので、日野市独自で行

っているものである。

現在都市計画課では、まちづくりマスタープラン見直しと立地適正化計画の策定に取り組んでおり、それを踏まえて交通網形成計画になる可能性はある。今のところまちづくりとは切り離して、交通事業だけの計画として行っている。

(事務局回答)

委員

高低差を加味した交通空白地域とは、どのようなことを考えているのか。

⇒現在の定義では平面的に考えている。高低差を含め三次元で定義している自治体は全国にいくつかあるが、独自の考え方で定義しており、統一した定義は今のところない。GIS や水道配水計画に用いている高低差のデータを活用するなどやり方についてはいくつか考えられるが、その中で市の実情に合った形で今後検討していくことになる。今回の見直しの目的である丘陵地対策は、現在の高低差を無視した定義ではカバーしきれないため、方法論も含め今後検討を進めていきたいと考えている。

(事務局回答)

委員

住民運転型交通とはどのようなものを考えているのか。

⇒大和市で「のりあい」という住民運転型交通を行っている旨を前回の会議で紹介したが、そのまま同じことをするわけではなく、日野市の現状に合った形で、地域の住民と市の協働で事業を行うことを考えている。

(事務局回答)

委員

ミニバスについて、市役所・市立病院までの直行便がなくなったのは何故か。

⇒平成22年にミニバス路線網を再編し、ラウンドダイヤを実施するために直行便を廃止した。一例を挙げると、平山循環路線については、再編前は今の経路に加えて市役所・市立病院まで乗り入れており、一行程で1時間20分要していたが、起終点を豊田駅北口とすることで、現行は56分で運行している。当時は2時間ピッチで運行していたが1時間ピッチのラウンドダイヤで運行できるようになっている。旭ヶ丘循環路線についても同様の施策でラウンドダイヤ化を図り、再編後利用増につながっており、一定の成果はあると考えている。

(事務局回答)

<議決>

会長

- ・日野市地域公共交通総合連携計画についてについて異議ないか。
《異議なし》
- ・日野市地域公共交通総合連携計画についてについて承認した。

(5) 分科会の設置について（協議事項）

事務局から説明（資料6）

<意見、質問等>

特になし

<議決>

会長

- ・分科会の設置についてについて異議ないか。
《異議なし》
- ・分科会の設置についてについて承認した。

(6) 平成29年度利用状況について（報告事項）

事務局から説明（資料7）

<意見、質問等>

委員

ワゴンタクシー平山ルートで、平成30年3月から循環化を行ったが、効果が見られないとのことだが、市民からの意見や要望は寄せられているか。

⇒3月の交通会議で報告させて頂いたが、元々は平山6丁目の自治会からの申し出があり循環路線化を行った。その人たちからは実際に感謝の言葉を頂いている。その時にお話した際、高齢化により今までワゴンを利用して外出していた人達が、外に出られない状況になっているということが自治会の中で議論になっていると聞いた。根本的な需要が変わってきているということであれば、ヒアリング等を行い今年度に計画を策定していく中で検討が必要だと認識している。

（事務局回答）

(7) その他報告事項）

事務局から説明（資料8）

<意見、質問等>

特になし

会長

他にご意見、ご質問はありますか。
なければ本日の議案は終了です。

(事務局)

今後について資料5裏面にあるように、次回の会議は8月の初旬を考えている。7月下旬から8月上旬に官民共同で行っている先進事例の視察ということで、賛同を得られる自治会と、交通会議委員、事務局で視察を予定している。詳細が決まりましたら連絡致します。

会長の挨拶にもありましたが、今年度のスケジュールはタイトになっております。忙しい一年間だとは思いますがご協力の方よろしくお願い致します。